

## ひやくにんむら 百人邑が補助金活用し施設を整備

# 企業等に向けた取組を強化

「半農×半ICT」で雇用機会・社会復帰をサポートする自立(生活)訓練・就労継続支援A型多機能事業所を運営する(一社)百人邑(安佐北区安佐町飯室2126、竹添寛二代代表理事)は、広島市元気なまちづくりプロジェクト地域活動支援事業補助金を活用して様々な設備を整え、新しい生活様式に応じた「おもてなし」ができる農場

を乾燥させる低温除湿乾燥庫は古民家の納屋を改装し、除湿機・スポットクーラー・温度湿度検知計を設置。バーベキューができるオープンデッキハウスやロッカー型自動販売機付の野菜直売所、ボランティアトイレ&シャワーを施工し、丘の上の見晴らし処やグランピング場などを整備している。今後は薬湯場にも着手する予定。



として展開する。農場で収穫した薬草や椎茸など

約4000平方メートルの農場では、1坪オーナーの募集や企業農場の取組を強化する。1坪オーナーは年会費5万円で50人限定。農場にオーナー記載をして薬草浴湯材「当帰湯」と薬草香を届ける。

企業農場は福利厚生の一環となる農身体験用に農場の一部を貸し出す。野菜などの植付・栽培・収穫はスタッフがサポートする。既に先月から(株)トル・ワンズ(東区若草町)が利用しているII写真II。自然に囲まれた三密回避の環境は、新しいスタイルに適したコミュニケーションができるはず」と竹添代表。

通所者によるICT事業は、データ入力やホームページ制作・運営、各種調査などを手掛ける。農業で体力をつけることでパソコン業務にも集中できる環境は、通所者の社会復帰(就職)にも繋がっている。竹添代表は「IT業務のスキルは高くメンタルが改善できれば確実に戦力になる。多くの企業との雇用連携を図りたい」と話す。